

ケアサポートえん特別企画
～歌声喫茶“ともしび”に参加して～



9月10日(日)に行われた“ともしび”に参加させて頂きました。
私は週二回、えんさんからヘルパーさんを派遣して頂き、お世話になって居ります。ほとんど家に居り、身心共に晴れない日が続いていた折、“ともしび”のお誘いを受け、案内状のアコーディオンという文字にもひかれ参加させて頂きました。

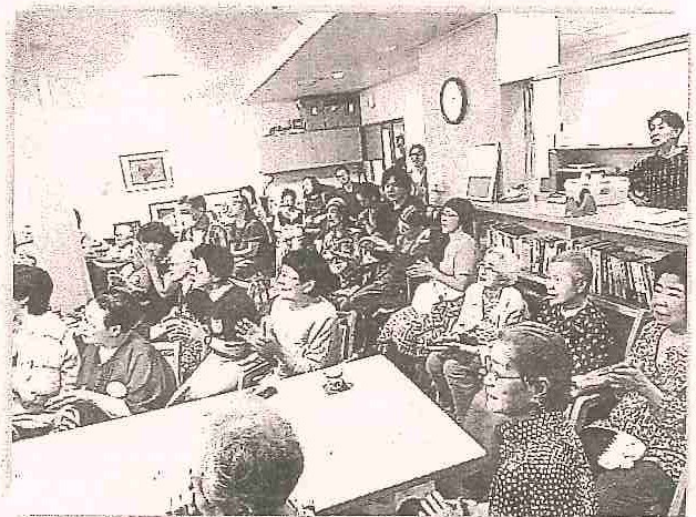
青柳常夫様の軽妙洒脱な司会と歌の上手さ、リクエストに応じて、譜面無しでも直ちにアコーディオンを弾かれる小嶋弘遵様には、ただ驚きと感心で一杯で御二人は何者?と思い、どなたかに伺ってその経歴に納得致しました。お腹の底から声を出すということは、精神的にもとても良い様です。

最後の方にヘルパーの前田さんのお嬢ちゃんのリクエスト、「大きな古時計」を皆で歌い、私の好きなタンゴ「ラ・クンパルシータ」をアコーディオンで弾いて頂き、その素晴らしさに、大いに堪能させて頂きました。

(ケアサポートえん利用者/高久捷子)



小嶋弘遵氏 青柳常夫氏



グループリビングえんの森にて

～歌声喫茶「ともしび」とは～

1954年 東京・新宿の食堂から歌声がひびき、そこから歌声喫茶「ともしび」が生まれる。

戦後復興の生き生きとした息吹きを受け、次々と歌声喫茶が生まれ国民的ブームとなった。